

PATLITE®

情報表示システム

情報表示システム



社会の中で暮らしの安全を守る、様々な情報を「見える化」でより効果的に伝達するシステムのご提案

01 災害情報システム

P.3~8

災害発生 の情報を防災行政無線のデジタル信号化により、従来の音声に加え文字情報でも伝達いたします。

02 河川警報システム

P.9~10

定期的なダムの放流、集中豪雨時などの緊急放流の際に、事前に報知し下流部の安全確保の補助を行います。

03 冠水情報表示システム

P.11~12

集中豪雨時のアンダーパス道路の冠水情報を表示し、周囲に注意を促します。

04 親水施設警報システム

P.13

親水施設を利用する人、釣りやキャンプなどで河川敷内に立ち入る人に対し、急な増水や警報などを報知するシステムです。

05 逆走防止システム

P.14

高速道路の出入り口、パーキングエリアでの逆走車を検知し、警告します。



暮らしの中にある様々な情報。弊社では、これらの多種多様な情報の中から、場所や状況に応じて適切に表示するためのシステムのご提案をおこなっております。自然災害発生時などの報知や警告などの緊急性の高い内容から、道路や地域情報のような暮らしに密着した情報まで、用途に適した仕様にカスタマイズしながらモデルプランとしてご紹介いたします。



06 雨量情報表示システム
P.15
局所的集中豪雨による急な増水の危険性を迅速かつ効果的に周知し、水害被害の低減を図るシステムです。

07 道の駅情報システム
P.16
道の駅来場者に対して、平時には道路情報・インフォメーション情報を、災害発生時には緊急情報をリアルタイムに発信します。

08 津波情報システム
P.17~20
津波到達が予想される沿岸部に設置することで、緊急時にはドライバーや地域住民に対して迅速な情報伝達と避難行動を促します。

09 戸別受信機
文字情報を発信する機能を有することで防災行政無線の放送を屋内で聞けるとともに、視覚による情報伝達も実現します。

10 緊急出動灯・その他
P.21
暮らしの中にある様々な情報を、場所や状況に応じて適切に表示するシステムのご提案を行います。

文字・光・音で多角的に情報提供を!!

ご採用事例

神奈川県 様

ご採用年月

2014年3月

構成

災害情報板 ————— 4基

制御盤 ————— 4基

ソーラーパネル ————— 4基

主な設置箇所

親水公園内の河川沿いや
遊水地沿いの遊歩道に設置



表示板採用のいきさつ

既設箇所には、すでに警報装置として回転灯・スピーカが設置されていたが、音+光が認識しにくい状況があった。
その為、より確実に情報伝達を行う対策が必要となり、表示板を設置した。

設置目的(用途)

気象庁から発表される、気象情報を取得し、
警報発令時に周囲の住民に、注意喚起を行い災害情報を伝達する。

導入後の効果

悪天候時に音が聞こえづらい箇所や、住宅が密集しスピーカの音量が出せない箇所では、文字を表示させることで、より確実な情報伝達ができる。

津波の音にかき消されない文字情報で伝達する

ご採用事例

高知県 四万十市 様

ご採用年月

2014年2月

構成

災害情報板 ————— 8基

制御盤 ————— 8基

主な設置箇所

- 沿岸部の道路沿い
- 津波避難タワー上
- 公園・駐車場など避難場所



表示板採用のいきさつ

津波発生時の避難誘導情報強化の為、音を伝達しづらい沿岸部や避難箇所となる広場などに表示板を設置した。

設置目的(用途)

津波発生時に周辺住民や走行中のドライバーに対して、迅速な避難誘導の為に情報伝達を行う。

導入後の効果

音声放送とともに文字情報+回転灯(光)を連動させることで、津波発生時に周辺住民への早期の情報伝達を行うことが出来る。

平常時は気象情報を災害時には避難誘導に!!

ご採用事例

静岡県 沼津市 様

ご採用年月

2012年3月

構成

災害情報板	2台
制御盤	2台
ソーラーパネル	2台

主な設置箇所

海水浴場の駐車場広場に設置



表示板採用のいきさつ

従来は音声放送のみだったが、文字情報を連動させることで、音声が聞こえない場合でも確実に防災情報を周知させたかった。

設置目的(用途)

通常時は、気温・風速などの気象情報を表示。災害発生時には、防災情報に表示内容を自動切替することで、災害発生時の情報伝達の多角化を実現する。

導入後の効果

音声放送+文字情報を連動させることで、情報伝達をより迅速かつ確実に行うことが出来、災害発生時の避難誘導等に役立てる。

人が集まる駅前に文字情報で確実に伝達

ご採用事例

千葉県 野田市 様

ご採用年月

2012年3月

構成

災害情報板 ————— 4台

制御盤 ————— 4台

主な設置箇所

東武線沿線の駅前ロータリー周辺



表示板採用のいきさつ

従来の音声放送に加えて、文字情報を連動させることで音声が聞こえないような人が多い駅前でも確実に防災情報を周知させたかった。

設置目的(用途)

通常時は、自治体のイベント情報を表示。災害発生時には、防災情報に表示内容を自動切替することで、災害発生時の情報伝達の多角化を実現する。

導入後の効果

音声放送+文字情報を連動させることで、情報伝達をより迅速かつ確実に行うことが出来、災害発生時の帰宅困難者等の避難誘導等に役立てる。

津波発生時に沿岸部の船舶に警報を伝達

ご採用事例

岩手県 久慈市 様

ご採用年月

2012年3月

構成

災害情報板 ————— 14基

制御盤 ————— 14基

ソーラーパネル ————— 28基

主な設置箇所

- 沿岸部の道路沿い
- 漁港内広場の道路沿い
- 河川部の道路沿い



表示板採用のいきさつ

津波発生時の避難誘導情報の強化の為、音の伝達しづらい沿岸部、河川部の主要箇所に表示板を設置した。

設置目的(用途)

津波発生時に周辺住民や走行中のドライバーに対して、迅速な避難誘導の為の情報伝達を行う。

導入後の効果

沿岸部では回転灯も併設することで、近隣を渡航する船舶へも情報配信を行っている。又河川部では津波の遡上対策として、水位を計測する為の監視カメラとの連動によって、河川周辺の住民への避難誘導に役立てることが出来る。

河川の水位情報や放射線量の伝達に

ご採用事例

福島県 田村市 様

ご採用年月

2012年3月

構成

災害情報板 両面仕様 ————— 7基
電源制御器 ————— 7基
ソーラパネル ————— 14基

主な設置箇所

- 市役所 庁舎前広場
- 河川流域の道路沿い



表示板採用のいきさつ

平常時は市役所のインフォメーションや気温・放射線量などのモニタリング情報として活用の為、表示板を採用。

設置目的(用途)

気象情報や放射線量などの情報伝達により、地域住民に安心感を与える。

導入後の効果

気象情報に加え放射線量など地域住民がリアルタイムでチェックできるようになった。河川部では監視カメラとの連動により、常時河川の水位を観測することで急な増水などの災害情報の伝達が可能となった。

ダムの放流情報をリアルタイムにお知らせ

ご採用事例

近畿地方整備局 様

ご採用年月

2012年3月

構成

LEDボード	1基
回転灯(3台)	3式
制御盤	3台
発電機	1台

主な設置箇所

ダム下流部河川付近の居住地の道路沿いに設置。



表示板採用のいきさつ

集中豪雨等の緊急時に、ダム放流の情報を下流部の住民に対して的確に伝える必要が求められた。

設置目的(用途)

居住地の住民やドライバーに対して、状況把握と行動判断に役立ててもらうことが目的。

導入後の効果

ダム放流時の情報をリアルタイムに把握する事が可能となり、近隣住民の安心感や状況把握に繋げることが出来た。平常時には、お知らせや啓蒙活動等を表示し有効的に活用している。

河川情報システム

ご採用事例

近畿地方整備局 様

ご採用年月

2015年3月

構成

LEDボード	2基
回転灯(3台)	3式
制御盤	3台
発電機	1台

主な設置箇所

国道や居住地の道路沿い。



表示板採用のいきさつ

ダム放流の情報をこれから下流部に向かう運行者に対しても情報を伝える必要があり検討。

設置目的(用途)

居住地の住民やドライバーに対して状況把握と行動判断に役立ててもらおうことが目的。

導入後の効果

ダム放流の情報を的確に伝達させることができ、近隣住民の安心感や状況把握につなげることが出来た。

冠水情報表示システム

ご採用事例

静岡県 某市 様

ご採用年月

2012年3月

構成

冠水表示板	3基
主制御盤	1台
水位検知器	1台

主な設置箇所

市内数箇所あるアンダーパス部において冠水地区に設置



表示板採用のいきさつ

市内数箇所ある冠水エリアについて進入を防ぐ対策を検討。表示板の設置に至る。

設置目的(用途)

集中豪雨等、道路の急な冠水発生時に、車両やバイク等の進入を防ぐことが目的。

導入後の効果

冠水発生時に、大型の文字情報と回転灯による注意喚起を行うことで、通行する車両等の進入を未然に防止し事故の回避に繋げることが可能となった。

冠水情報表示システム

ご採用事例

埼玉県朝霞県土整備事務所 様

ご採用年月

2012年3月

構成

冠水表示板	7基
主制御盤	1台
通信制御盤	1台
機側制御盤(有線・無線)	7台
水位検知器	1台
監視カメラ	1台

主な設置箇所

東武東上線下アンダーパス周辺の
進入道路近隣



交差点部



アンダーパス部

表示板採用のいきさつ

同箇所は、アンダーパスの進入路が複数あり
進入路となる7箇所に表示板を設置することになった。

設置目的(用途)

異常気象時等における、道路の急激な冠水発生時に、通行する車両の進入を
防止する。又、冬期の寒冷時には、路面凍結によるスリップ事故を防止する。

導入後の効果

冠水発生時に、文字情報により注意喚起を行うことで、
通行する車両の進入を未然に防止させることが可能となった。

親水施設の急な増水時に警報を伝達

ご採用事例

兵庫県 様

ご採用年月

2012年3月

構成

LEDボード ————— 2基

回転灯 ————— 2台

主な設置箇所

遊歩道のある親水施設内に設置。
架台を用いて河川中央部に取付る。



表示板採用のいきさつ 急な河川増水による災害を防止する為、人目につく大型の表示板で対策を行う。

設置目的(用途) 遊歩道を利用する住民に対して、いち早く正確な情報を伝える事が目的。

導入後の効果 注意を引き付ける回転灯と情報伝達に優れた情報板により、住民への素早い危険情報の伝達と迅速な避難行動を促すことが出来た。平常時には様々な告知情報をタイムスケジュールで運用中、住民への積極的な情報配信にも繋がっている。

自動車専用道路の逆走を未然に防ぐために

ご採用事例

中日本高速道路東京支社 小田原保全様

ご採用年月

2010年6月

構成

警告表示板	18基
制御機	18台
カメラ	18台

主な設置箇所

小田原厚木道路 小田原保全管内インターチェンジ及びサービスエリア出口付近



表示板採用のいきさつ

一般道からの右折進入時に出口からの逆走で進入する車両が多発していた為、逆走進入車両の抑止の為、表示板を設置することになった。

設置目的(用途)

高速道路のインターチェンジ出入口やパーキングエリア出入口などでの逆走車を検知してドライバーに警告表示することで、逆走事故を防止する。

導入後の効果

文字表示・回転灯・音声との連動にて発報することで、逆方向への進入車抑止に役立っている。

ゲリラ豪雨の危険性を文字情報で伝達

ご採用事例

神奈川県県西土木事務所 様

ご採用年月

2011年3月

構成

雨量情報表示板 ————— 3基
遠隔監視制御サーバ ————— 1式

主な設置箇所

親水公園内の河川沿いや
遊水地沿いの遊歩道に設置



表示板採用のいきさつ

近年、ゲリラ豪雨による急激な河川の増水によって、水難事故が多発しており、危険を知らせる警報装置の設置が必要となった。

設置目的(用途)

親水施設を利用する人、釣りやキャンプ等で河川敷地内に立ち入る人等に対し、ゲリラ豪雨による急な増水の危険性を迅速かつ効果的に周知することで、水害被害の低減を図る。

導入後の効果

気象庁からの気象情報を受信し、光・音・文字との連動による報知を行うことで、迅速・確実に情報伝達が可能となった。

緊急時には防災情報表示ができる情報ボード

ご採用事例

国土交通省 甲府河川国道事務所様

ご採用年月

2014年6月

構成

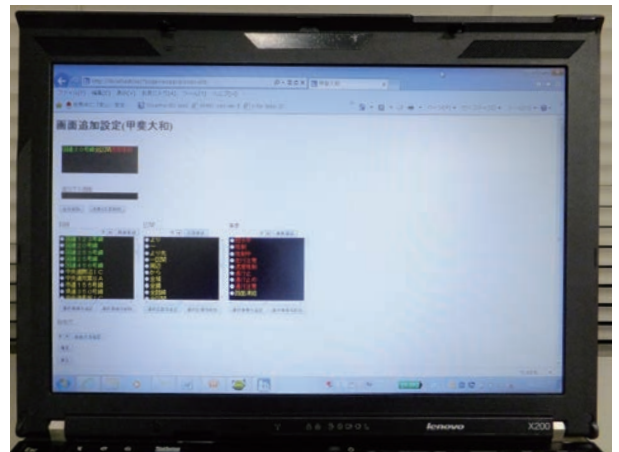
電光掲示板 ————— 1基
 主操作端末(事務所) ————— 1式
 副操作端末(道の駅) ————— 1式

主な設置箇所

道の駅富士川玄関前の壁面に設置



電光掲示板



電光掲示板用操作端末

表示板採用のいきさつ

道の駅富士川は中央横断自動車道増穂ICと隣接しており、災害時の防災拠点となっており、道路情報及び災害発生時の情報を発信させる為。

設置目的(用途)

通常時は、道路情報及びインフォメーション情報の表示。
 災害発生時は、緊急情報をリアルタイムに表示させる。

導入後の効果

電光掲示板の設置により、道の駅来場者に対し、迅速な情報発信が可能となった。

津波の到達をドライバーに対して事前に伝達

ご採用事例

兵庫県 様

ご採用年月

2014年3月

構成

災害情報板 ————— 17基

制御盤 ————— 17台

ソーラパネル ————— 17台

主な設置箇所

津波の到達が想定される
県南部沿岸地域(淡路島南部)の
県道沿いに設置。



表示板採用のいきさつ 南海トラフ地震に備え津波防災施設の整備を5ヵ年計画として推進中。

設置目的(用途) 道路利用者等へ速やかな避難を促す事が目的。

導入後の効果 災害情報板が設置されていることで地元住民、ドライバーに対して安心感を与えることが出来る。
設置場所付近が津波到達エリアである事を事前周知させる効果が見込める。

津波情報システム

ご採用事例

三重県 様

ご採用年月

2009年3月

構成

LEDボード————— 1基
 音声付回転灯————— 1台

主な設置箇所

陸閘設備付近に設置。



表示板採用のいきさつ

緊急時において、設備の操作に従事する人や付近の住民に対してリアルタイム情報を伝達させる必要があった。

設置目的(用途)

津波情報等を伝え、危険エリアへの進入を防ぐ事が主な目的。

導入後の効果

陸閘設備の稼動と情報伝達を合わせる事で付近住民や従事する人に対しても注意喚起の効果が発揮される。進行車が危険エリアへ進入することを阻止し、未然の危険回避に繋がる。

津波情報システム

ご採用事例

和歌山県 様

ご採用年月

2009年3月

構成

LEDボード ————— 2基

回転灯 ————— 2台

主な設置箇所

漁港エリアの中で人通りの多い水門部と陸閘部に情報板と回転灯を設置。



表示板採用のいきさつ

従来はスピーカにより音で情報を伝えていたが、新たに文字情報として伝達する対策を追加設備として検討。

設置目的(用途)

津波情報等の伝達と水門・陸閘の動作情報を周辺住民に対して知らせる事が目的。

導入後の効果

歩行者・車両運転者に対して水門・陸閘の動作情報を伝え事故にあわないよう安全確保に繋げて頂く。
津波情報等も提供し、迅速な災害回避行動にも効果を発揮する。

多言語表示で災害発生時、観光客にも避難誘導

ご採用事例

鹿児島市 様

ご採用年月

2015年3月

構成

LED表示ボード	—————	3基
回転灯(12台)	—————	12式
制御盤	—————	3台
蓄電池	—————	3台

主な設置箇所

沿岸部の道路沿い。
フェリー乗場周辺。



表示板採用のいきさつ

人が多く集まる場所で、警報音と光、文字表示装置を用い各種情報伝達を効果的に行いたため設置。

設置目的(用途)

観光客、ドライバー、周辺住民に対して、避難誘導、状況把握と行動判断に役立ててもらおう情報伝達を行う。

導入後の効果

日本語、英語、韓国語、中国語を表示。海外からの観光客へも早期に警戒情報を伝達させることが出来るようになった。

消防車の緊急出動を通行車両に伝達

ご採用事例

日高広域消防事務組合消防本部 様

ご採用年月

2015年8月

構成

緊急出動灯	
LED表示ボード	1基
回転灯	2台
コントローラ	1台

主な設置箇所

消防緊急車両の出動時に危険が想定される消防署の車両出入り口に設置。



表示板採用のいきさつ

消防緊急車両の出動時に消防署出口の安全確保の為、緊急出動灯を設置を検討。

設置目的(用途)

往來の激しい道路を通行する車両、歩行者に対し消防緊急車両の出動を報知し安全を確保する

導入後の効果

消防車両の緊急出動時に安全を確保することができ、普段は各種防災情報や火災予防情報などを近隣の住民に文字情報を広報活動として活用している。



CORPORATE INFORMATION

会社概要

創業	昭和22年1月
会社設立	昭和60年2月25日
資本金	3億円
代表者	代表取締役社長 高野 尚登
取引銀行	りそな銀行・三菱東京UFJ銀行
製造品目	表示灯・信号灯・回転灯、音・音声合成機器、散光式警光灯・サイレンアンプ、LED表示ボード、LED照明、緊急地震速報端末、無線・センサ機器、情報表示機器及びシステムなど

〈お問い合わせ先〉

株式会社パトライト

〔営業本部 情報機器営業部 東日本社会営業課〕
〒105-0014 東京都港区芝3-43-16 KDX三田ビル 5階 TEL:03(6865)1711 FAX:03(6865)1717

〔営業本部 情報機器営業部 西日本社会営業課〕
〒541-0053 大阪市中央区本町4-4-25 TEL:06(7711)8970 FAX:06(7711)8981

URL : <http://social.patlite.jp> E-mail : social@patlite.co.jp

営業拠点

国内拠点

本社	TEL:06(7711)8950(代)	三田工場	TEL:079(568)5656(代)
テクノセンター	TEL:079(568)7707(代)	東京営業所	TEL:03(6865)1711(代)
仙台営業所	TEL:022(256)5656(代)	関東営業所	TEL:048(640)2020(代)
横浜営業所	TEL:045(473)1118(代)	名古屋営業所	TEL:052(856)0001(代)
大阪営業所	TEL:06(7711)8980(代)	広島営業所	TEL:082(535)5656(代)
福岡営業所	TEL:092(686)7333(代)	北海道サテライト	

東京 TEL.03(6865)1711 仙台 TEL.022(256)5656 関東 TEL.048(640)2020
横浜 TEL.045(473)1118 名古屋 TEL.052(856)0001 大阪 TEL.06(7711)8980
広島 TEL.082(535)5656 福岡 TEL.092(686)7333 北海道サテライト

技術修理相談窓口：  **0120-497-090**
受付 9:00~17:00 (平日 12:00~13:00 及び
土・日・祝日は留守番電話による対応) FAX:079-568-6604

●カタログに記載の寸法、仕様および価格などは予告なく変更する場合がございますので、最新の情報については必ず仕様書等でご確認ください。●配線図中の配線コード、ヒューズ、ネジなどは特に記載のあるもの以外、付属していません。●カタログに記載の性能表記は、設置条件により満たされない場合があります。●製品の色調は印刷のため、実際の色と異なって見える場合があります。●価格には消費税、取付工事費等は含まれておりません。●このカタログは環境にやさしい大豆油インキを使用しています。●PATLITE 及び パトライト は株式会社パトライトの登録商標です。



ISO14001:2004 認証取得
三田工場は、国際標準化機構が定めるISO14001(環境マネジメントシステムに関する規格)の認証を取得しています。



安全に関する
ご注意

正しく安全にお使いいただくため、
ご使用前に必ず「取扱説明書」をよく
お読みのうえ、正しくご使用ください。

株式会社 **パトライト**

本社 〒541-0053 大阪市中央区本町4-4-25

PATLITE ECO PROJECT

パトライトでは、製品の省電力化、廃棄物の削減を
はじめとする各種環境対策に取り組んでいます。



カタログ番号 I-3208B 1511 A5/B5(NPP)B